

一山越えられました



栃木県看護連盟会長
伊藤正子

新年おめでとうございます。

今年も早、2ヶ月が経過してしまいました。皆様お元気で又、お忙しくご活躍のことと存じ上げます。

昨年は石田昌宏氏が見事当選し、大変明るく嬉しい年でありました。大勢の皆様方のご支援に心から感謝申し上げます。

私共、看護職を代表される三議員（阿部・高階・石田議員）が、国政の場で堂々と活躍していらっしゃることは、私共の誇りです。皆様にはホームページなどから、それぞれの活動レポート・講演内容・委員会報告などを是非とも興味を持ってご覧下されれば幸いです。

今年は午年（うまどし）ですから、干支にちなんで、三議員が品性のある名馬のごとく、今年も更に躍進される良い年でありますよう念じております。先生方に充実した仕事をして頂けるように私共も団結して頑張りましょう。

今年は看護界（看護協会・看護連盟）が一致団結して大きな力を発揮できる様に、次の選挙の準備に入らせていただきます。ここで皆様方のご協力とご支援をお願いしますと共に、ご多幸とご活躍をお祈り申し上げます。最後になりますが、看護連盟への入会もよろしくお願いします。

未だに課題は多い年



栃木県看護協会会長
河野順子

新年おめでとうございます。

会員の皆様、佳き年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

日頃より、栃木県看護協会へのご支援ご協力をいただき、ありがとうございます。

昨年の参議院議員選挙におきまして、私たちの代表として石田昌宏氏への応援を看護連盟・看護協会が一丸となって汗を流し、その結果嬉しい当選となった年되었습니다。

私たち、看護職にとってやらなければならない課題が山積しております。看護職不足は、各施設でのあいさつ言葉になるほどの深刻さがあります。ただ、そのために売り手市場ともとれますので、慢心せず看護職の質の保証は担保していくかねばなりません。当協会は、看護職の教育・研修を事業の要として運営してまいります。また、平成26年度の診療報酬改定では必ず地域医療（在宅医療）が評価されます。社会問題になりつつある高齢者の住み家の問題と健康問題（生活問題）が、在宅医療・福祉でどれだけ減少できるかは、課題です。訪問看護ステーションは県内で増加傾向ではありますが、他の職種とチームを組んでどれだけ支援できるかが問われることになります。

今、このように看護職の役割・機能は拡大してきています。今年もしなやかにしたたかに、世の流れの先読みをして社会貢献をしてまいりましょう。

今年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

力強い組織を作りたい



日本看護連盟会長
草間朋子

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

昨年は石田昌宏参議院議員が誕生し、看護職では初めての男性議員として、フレッシュな感覚で頑張って活動しております。阿部俊子議員、高階恵美子議員も、それぞれ、要職のポジションを得ることができ、看護政策に関することはもとより、幅広い領域の活動を展開し、「看護の代表ここにあり」と存在感がありうれしいことです。

「看護職の役割拡大」「看護職の働く環境の改善・整備」「潜在看護師の復職支援」など、看護界が抱えている様々な問題を解決し、政策的に実現していくことや、看護の代表を国政の場に送り出すことは連盟の重要な役割だと認識しております。看護界が抱えている様々な問題を、看護職が自らの力で自律的に解決していくために会員のみなさまと一丸となって、連盟を、社会を動かすことができる「力強い組織」として発展・進化することを目指して、全力投球してまいります。

ご支援とご協力をよろしくお願ひ申し上げます。